

14 トマト（雨よけ夏秋）

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	トマト20a、ほうれんそう10a、水稲200a
自家労働	2.0人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		○……………◎————□□□□□□□□□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
作業場兼農機具庫	木・瓦	30 m <sup>2</sup>	1,890,000	9	164,348	164,348	15	10,957	8	76,696	100	3,068
ビニールハウス	6m×50m	7.0 棟	10,306,800	60	6,184,080	6,184,080	14	441,720	7	3,092,040	100	123,682
トラクタ2WD	25ps・2WD	1 台	1,845,900	9	160,513	160,513	7	22,930	4	68,791	20	550
ロータリ	160cm	1 台	400,050	9	34,787	34,787	7	4,970	4	14,909	20	119
動力噴霧機	6ps	1 台	189,000	80	151,200	151,200	7	21,600	4	64,800	100	2,592
かん水ポンプ	2.2ps	1 台	131,313	80	105,050	105,050	7	15,007	4	45,022	100	1,801
管理機	3.5ps	1 台	196,245	70	137,372	137,372	7	19,625	4	58,874	100	2,355
軽トラック	660cc	1 台	850,000	65	552,500	552,500	4	138,125	2	276,250	100	11,050
建物・構築物計			12,196,800		6,348,428	6,348,428		452,677		3,168,736		126,749
機械・器具計			3,612,508		1,141,422	1,141,422		222,257		528,645		18,467
植物・動物計			0		0	0		0		0		0
合計			15,809,308		7,489,850	7,489,850		674,933		3,697,381		145,217

## 4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
トマト	桃太郎8 (台木: がんばる根11号)	雨よけ・夏秋	8,000kg	水田転換畑	20a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時間	
堆肥散布・耕起	4/上	堆肥 セルカ2号	4t 100kg	トラクタ ロータリ		4.0	2	16.0	軽油 18
ビニール被覆	4/上	ビニール		人力			2	30.0	
元 肥 畝 立 て マ ル チ	4/下~5/上	BM苦土重焼燐 スーパー I B 2 2 2 菜種油粕 珪酸加里特号 黒マルチ かん水チューブ	20kg 40kg 90kg 40kg 500m 500m	管理機		2.0	2	20.0	ガソリン 4.0
支 柱 立 て	5/中~5/下	イボ竹 エクセル線 ハウスバンド	1900本 1,000m 5,000m		○1株ごとにイボ竹を立て、最上部にエクセル線、その他はハウスバンドを横にわたし固定する。		2	26.0	
定 植	5/中~5/下	苗	1,900本		○1段花房が開花し始めた頃、株間50cmで定植する。		2	64.0	
誘引・摘芽・摘果	5/下~9/下	テープナー			○生育に応じて誘引し、摘芽は早めにおこなう。 ○第1,2果房は3~4果、以降は4~5果を残して摘果する。		2	71.0	
ホルモン処理	5/下~8/下	トマトーン ジベレリン	400ml 120ml		○各花房2~3花開花時に処理する。 ○高温時は空洞果予防のためジベレリンを混用する。		2	30.0	
か ん 水	5/中~10/中			かん水ポンプ	○第3果房開花までは控えめに、以降は天候に応じてかん水する。	28.0	1	28.0	ガソリン 26.0
追 肥	7/上~9/上	NK化成	110kg		○3段花房開花時に第1回の追肥を行い、その後各段の開花時に追肥する		1	14.0	
敷 き ワ ラ	7/下	稲ワラ	1,000束		○梅雨明けまでうねの上に敷きワラし地温の上昇を防ぐ。		2	16.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 ( $\frac{\text{kg}}{10\text{a}}$ )	
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員		延労働 時 間
病虫害防除	5/中~10/上	ジマクイセン水和剤 オルトレン水和剤 ダイアジノン粒剤5 ダントツ粒剤 カスミンホルトー ヘルクトフロアブル モスピラン水溶剤 スミアレント水和剤 ダコニール1000 ブレハソフフロアブル5 アファーム乳剤 アトマイヤー水和剤 カンタストライフロアブル スピノース顆粒水和剤 アミスターオブティフロアブル トルネートフロアブル ロブラル水和剤 ダントツ水溶剤 ポリオキシAL乳剤	500g 200g 6kg 1900g 200g 200ml 200g 100g 200ml 200ml 100ml 100g 266ml 100g 200ml 100ml 133g 133g 200ml	動力噴霧機		20.0	2	24.0	ガソリン 20.0
収穫・出荷	7/上~11/上	ダンボール他	2,000ケース	軽トラック	○共同選果場利用	10.0	2	305.0	ガソリン 10.0
後片付け	11/中~下				○残さはほ場外へ持ち出し処分する。		2	46.0	
合 計								690.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	2,480,000	生産量①： 8,000 kg 単価②： 310 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	2,480,000		
生産	種 苗 費	279,300		
	肥 料 費	57,629	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	49,119	"	
	諸 材 料 費	88,629	"	
	動力光熱費	14,227		
	農 具 費	22,829	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	80,342	建物・構築物負担価額×1%、ビニール更新費	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	15,272		
	雇 用 労 賃	0		
	減価償却費⑤	337,467	別表のとおり	
	土地改良費	11,427		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	956,240		
	費	販売費一般	出荷資材費	184,000
管理費		販 売 諸 費	852,840	
		諸税負担金	13,586	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	16,680	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	670	借入資本利率2%
		小計 (C)	1,067,776	
経 営 費 (D)	2,024,015	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	925,730	農 従 労 働 時 間： 690.0 生産管理労働時間 22.1 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	2,949,745	主産物単位当たり 369 円/kg 注) (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	52,232	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	72,608	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	14,667			
全算入生産費 (H)	3,089,253	生産物単位当たり 386 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	455,985	時間当たり 640 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	18	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-609,253	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	316,477	時間当たり 444 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-469,745	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
堆肥散布・耕起									16.0																												16.0
ビニール被覆									30.0																												30.0
元肥・畝立て・マルチ										10.0	10.0																										20.0
支柱立て・誘引紐張り												13.0	13.0																								26.0
定植												32.0	32.0																								64.0
誘引・摘芽・摘果												4.0	4.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0	4.0	4.0										71.0	
ホルモン処理												3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0													30.0	
かん水												3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								28.0	
追肥																2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0													14.0	
敷きワラ																			16.0																		16.0
病害虫防除												1.0		1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0									24.0	
収穫・出荷																	5.0	20.0	35.0	40.0	45.0	45.0	35.0	25.0	25.0	10.0	10.0	6.0	4.0							305.0	
片付け																															16.0	30.0					46.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.0	0.0	10.0	10.0	49.0	55.0	11.0	11.0	11.0	19.0	34.0	65.0	55.0	61.0	62.0	47.0	32.0	32.0	13.0	11.0	6.0	4.0	16.0	30.0	0.0	0.0	0.0	690.0